



目的：これからのデジタル社会実現のための課題、あるべき方向性について、有識者を集め、調査・分析し、提言をまとめ、発信する

活動計画：

- 1) デジタル社会実現に関する調査、分析
- 2) デジタル社会実現に関する研究会立ち上げ及び運営
- 3) インターネットガバナンスの在り方に関する内外の議論への参画
- 4) デジタル社会実現に関する啓蒙や提言
- 5) 1～4に関係する外部活動への参加、情報収集及び内外への情報発信

1

生成AIの活用における課題と施策

生成AIを活用し、新しいイノベーションや社会発展をもたらすために必要な課題や施策を検討

- 日本の置かれた現状を分析し、特に技術面やビジネス面などの実際的な（活用できるデータの質や量の問題、強力なAIシステムを運用するためのコンピューティングパワー等の確保の問題等）課題を特定する
- それらの課題解決の方法を検討し、提案する

2

国際的視点でのインターネット経済

インターネットの経済や社会的な意味を国際的な視点から研究する

- 近年話題となっているスプリンターネット、インターネットの分断の問題に限らず、「一つのインターネット」の持つ社会・経済的意味や課題、価値について再度議論する
- 日本の優れた技術や運用の実態について検証し、その国際化や貢献の可能性についても検討する

3

インターネット・ガバナンスの在り方

IGFや国連GDC等、インターネットに関わる国際的な議論をフォローし、継続して参画していく

- 特に今年10月京都で開催されるIGF 2023に参加し、報告書を作成し、以後の普及啓発活動に活用する
- これらの会議は、インターネットに関わる全ての関係者（マルチステークホルダー）が自由に参加、議論する新しい民主主義の在り方を試みるものであり、また立場の異なるグループも参加する希少な場であり、議論の内容と議論の進め方の両方に焦点を当て、調査研究を進める